



# 共栄

マテリアリティ	コミットメント	取り組み項目	KPI項目	数値目標(達成年度)	2024年度実績	2025年度施策	関連するSDGs
日々の暮らしをより美しく豊かに彩るイノベーション 	生活者の多様なニーズに応える新たな価値をイノベーションにより創出し、心・身体・環境に美しさと健全な豊かさをもたらし続けます。	ブランドを通じたときめき体験による唯一無二の価値提供	カテゴリー内セグメントシェア No.1獲得率	85%以上(2030年度)	75%	●各製品・地域に応じたプロモーションを実施	
		多様な価値を創造するイノベーション	アジアを中心とするグローバルな生活者に新たな価値を提供※1	毎年度 1つ以上	—※2	検討中	
コミュニティのウェルビーイング向上 	社会の公器として地域コミュニティのウェルビーイング向上を目指し、私たちの技術・人材・製品・資金等の資源を社会に還元することで、コミュニティへの貢献活動を積極的に行っていきます。	コミュニティへの貢献活動や寄付	NGO/NPO、公益法人、自治体など社外パートナーとの連携を継続	数値目標なし(毎年度)	5,100万円	●各拠点において、地域課題に根差した社会貢献活動を継続	

※1 新ブランド創出や既存製品の海外展開など。  
 ※2 新たに設定したKPIのため、2024年度実績なし。

# ピープル

マテリアリティ	コミットメント	取り組み項目	KPI項目	数値目標(達成年度)	2024年度実績	2025年度施策	関連するSDGs	
<b>バリューチェーンにおける人権の尊重とDE&amp;I促進</b> 	バリューチェーンにおける全ての人の基本的人権の尊重と、いかなる人権侵害も容認しないという方針をステークホルダーの皆さまと共有し、国連のビジネスと人権に関する指導原則など、グローバルレベルの人権原則に沿ってこの分野での責任を果たしていきます。	人権の尊重と責任あるバリューチェーンマネジメント	現在定義している重点人権リスクへの適切な対策の実行率 <sup>※1</sup>	100% 継続(毎年度)	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権デュー・ディリジェンスを継続実施</li> <li>●社内研修によって人権意識を向上</li> </ul>		
		製品・サービスを通じて、自己肯定感の向上と自分らしく生きる社会の実現に貢献	新製品提案時におけるDE&I確認プロセスの実施率 <sup>※2</sup>	100% 継続(毎年度)	— <sup>※3</sup>	●確認プロセスを徹底し、DE&Iへの意識を向上		
		肌の色、ジェンダー、社会的・文化的・地理的背景、生活環境、宗教や信条、身体的特徴など多様な価値観や考えを持った人々が、個性や能力を存分に発揮し、全ての人々が自分らしく生きる社会の実現に貢献します。	職場での性別・身体的特徴・国籍などによる不平等の解消	エンゲージメントサーベイにおける「発言・意見に対する承認」の肯定回答率	90%(2030年度)	78.8% <sup>※4</sup>	●幹部社員向けの評価トレーニングおよび360度フィードバックを実施	
			女性管理職比率		35%(2030年度)	30.7%	●ジェンダーを問わず、誰もが活躍できる職場に向けた人事制度を整備	
<b>社員のウェルビーイング向上</b> 	社員一人ひとりにとって、身体的にも、精神的にも、社会的にも充実して活力高い状態を創り出していくために、仕事のやりがい(働くことによって得られる喜びや達成感)を高めるとともに、働きやすさ(社内環境や制度)を整備し、社員のウェルビーイング向上を実現します。	労働安全衛生とディーセントワークの推進	エンゲージメントサーベイにおける「やりがい」に対する肯定回答率	80%(2030年度)	65.5% <sup>※4</sup>	●美意識経営・美意識文化醸成に向けたトレーニングやグローバルコミュニケーションを実施		
			重大労働災害発生件数	0件(毎年度)	0件	●怪我や病気に対する会社のサポートを拡充し、安心して働くことができる環境を整備		
		職場における人財の育成	エンゲージメントサーベイにおける「成長機会」の肯定回答率	80%(2030年度)	63.8% <sup>※4</sup>	●社内副業など協業と挑戦の機会を提供		
			Values & Leadership Behaviorの浸透率(行動レベル)	95%(2030年度)	53.0%	●Leadership Behaviorを評価基準とした行動評価を導入		

※1 期初・期中に実施する人権デュー・ディリジェンスで特定したリスク。

※2 対象年度内に提案された新製品のうち、社内DE&I要件(チェック項目)を満たしたものの構成。



※3 新たに設定したKPIのため、2024年度実績なし。

※4 対象はファイントゥデイホールディングス、ファイントゥデイの従業員。

# プラネット

マテリアリティ	コミットメント	取り組み項目	KPI項目	数値目標(達成年度)	2024年度実績	2025年度施策	関連するSDGs
気候変動への対応 	再生可能エネルギーの利用やエネルギー効率のよい設備導入等により、事業活動で排出されるCO <sub>2</sub> を削減します。環境フレンドリー製品の提供とエコの習慣化の促進により、使用場面で排出されるCO <sub>2</sub> を削減します。サプライヤーエンゲージメントの推進とCO <sub>2</sub> 排出量の少ない原材料の購入により、調達段階のCO <sub>2</sub> を削減します。	温室効果ガス排出の削減	Scope 1、2排出量削減率(2021年比)	42%(2030年度)	73%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ全体のGHG削減ロードマップを策定</li> </ul>	
			Scope 3排出量削減率(2021年比)	25%(2030年度)	Scope3排出量は6%増加(2021年比)		
自然・生物多様性保全と循環型社会の実現 	生物多様性の保全、自然環境の負荷低減に貢献すると同時に、革新的な技術を積極的に活用することで、持続可能なビジネスを構築します。事業活動における自社とバリューチェーン全体であらゆる無駄をなくし、資源の有効活用を推進していきます。	持続可能な原材料の調達(主にパーム油)	サステナブルなパーム油の調達	100%(2030年度)	●TNFD分析を実施 ●RSPOへの加盟を継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●TNFDレポートを開示</li> <li>●RSPO SC認証を取得</li> <li>●パーム油調達ロードマップを策定</li> </ul>	
		サステナブルな容器包装(主にプラスチック)	サステナブルな容器包装	100%(2030年度)	96%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●容器包装ガイドラインを改訂</li> <li>●KPI管理体制を構築</li> </ul>	
			主容器での石油由来バージンプラスチック使用量削減率(2022年比原単位)	25%以上(2030年度)	3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ全体のプラスチック削減中長期計画を策定</li> </ul>	
		生産活動における水資源の保全	水原単位利用削減率(2021年比):FTI	10%(2030年度)	21%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ全体の水使用量を新規開示</li> <li>●工場拠点における水使用量削減計画を策定</li> </ul>	
			水原単位利用削減率(2021年比):FTIV	10%(2030年度)	13%		

# ガバナンスの原則

マテリアリティ	コミットメント	取り組み項目	KPI項目	数値目標(達成年度)	2024年度実績	2025年度施策	関連するSDGs
<b>透明・公正で信頼できる経営の推進</b> 	お客さま、お取引先さま、株主の皆さまをはじめとする全てのステークホルダーからのご要望に応える迅速で透明性のある経営体制を目指し、実効性あるコーポレート・ガバナンス体制を構築します。また、内部統制システムの適正な運用にも継続的に取り組み、コーポレート・ガバナンス強化に努めます。	ガバナンス強化・コンプライアンス遵守・リスクマネジメント推進	重大なコンプライアンス違反件数 <sup>※1</sup>	0件継続(毎年度)	0件	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンプライアンス教育・研修を実施</li> <li>●BCPを策定し、物理リスクへの対策を強化</li> </ul>	
		情報・サイバーセキュリティへの対応	情報セキュリティ研修とサイバーセキュリティ訓練の継続実施	数値目標なし(毎年度)	研修:1回 訓練:3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報セキュリティ研修を実施</li> <li>●標的型攻撃メール訓練やCSIRT訓練を実施</li> </ul>	
		製品の信頼性が保証され、リスクが適切に管理される安全・安心な社会の構築に貢献します。	製品の信頼性保証活動の推進	品質に関する重大な事故件数 <sup>※2</sup>	0件継続(毎年度)	0件	<ul style="list-style-type: none"> <li>●品質マネジメントシステムを中国、東南アジアの各支社にも展開し、海外での品質保証活動を拡充</li> </ul>
<b>パーパスを実現する企業文化の醸成</b> 	「世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにする」というパーパスのもと、事業運営とESG推進を経営の両輪として、社会の持続可能性の実現に寄与する企業文化を醸成し続けます。	一人ひとりが当社パーパスに向きあう機会の提供	エンゲージメントサーベイにおけるパーパス・ビジョンに対する肯定回答率	88%(2030年度)	83.0% <sup>※3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全社会議の開催など、パーパスについて考える機会を提供</li> </ul>	

※1 公益を損害し、对外公表すべき事象。

※2 独立行政法人医薬品医療機器総合機構に報告が必要な重篤な身体トラブル件数。

※3 対象はファイントウデイホールディングス、ファイントウデイの従業員。